

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向関連 (東北)	良く なっている	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず客はタクシーを利用しているし、不景気だという話を聞くこともない。景気は良くなっている。	
	やや良く なっている	一般小売店〔書籍〕（経営者）	単価の動き		・プレミアム付商品券の発行に伴い、一般消費そのものは微増の傾向にある。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き		・来客数の動きは前年同月と比較してもさほど変わらないが、買上点数が増えている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き		・諸般の事情により店頭の上増に力を入れられない期間が長引いているが、それでも売上は若干上向きに推移している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き		・消費税増税から1年が経過して、売上が落ち着いてくるとみていた宝飾時計などの高額商材の動きであるが、現在も予想以上に動いている。また、食品などの日用品も好調に推移しており、景気は引き続き上向き傾向にある。ただし、天候が良く来客数が増えた月の前半に対して、後半に入ってから雨の日が続いており、売上はやや低下傾向にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き		・夏日が多く夏型消費の売行きが好調である。そのため、売上、来客数共に前年を上回っている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き		・来客数が増加しており、その分買上点数も増えている。ただし、その一方で客単価や1品単価が下がっているため、売上を大きく伸ばせていない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き		・揚げ物、ドーナツ、いれたてコーヒーなどのカウンター商材が好調であり、来客数が5か月連続で増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き		・今月は天候などの外的要因が追い風になり、良い状況である。
		コンビニ（店長）	来客数の動き		・気温と天気に恵まれ、例年よりも来客数が多い。経営している複数店舗のうち、一部の店は競合店の影響を大きく受けているものの、その他の店は来客数、売上共に順調である。また、天候のおかげで祭りも盛況に終わっており、県全体の商売が良い状態であったとみている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子		・お盆までは夏物商材を中心に需要が増えていた。更に秋物商材の立ち上がり前年よりも2週間早く、単価の高いボトム中心に動きがある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き		・原油価格の下落によって石油製品の価格も下がっている。また、夏休みのレジャーシーズンとも重なり需要が増えているが、仕入価格が下がっているため、粗利益も回復してきている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き		・今月は、学校の夏休み、七夕、お盆など夏のイベントが多く、当業界におけるハイシーズンである。ツアーによる団体客は少ないものの、家族単位の客が多く客室利用の効率も良い。また、家族構成上、館内消費も好調であり明るい月である。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き		・ここ数か月は予約が多く、今月も売上は右肩上がりとなっている。客の利用人数が増加傾向にあるためであるが、特に今月は前年比で単価が非常に伸びており、結果として非常に順調に推移している。
		テーマパーク（職員）	単価の動き		・わずかではあるが、客の購入単価が上がってきている。
		観光名所（職員）	来客数の動き		・来客数が増えている。団体客の予約状況は前年よりも若干落ち込んでいるものの、それを上回るように予約のないフリー客が増えており、売上を押し上げている。
遊園地（経営者）	競争相手の様子		・近隣に外資系の大型商業施設がオープンしており、県外ナンバーも多く見られている。また、新規オープンした水族館も好調らしく、消費が上向いているように見受けられる。		
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き		・客単価、売上、来客数共に、前年比120%程度で推移している。		
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き		・待機中の不動産が大きく動いており、建築の受注にもつながっている。		

変わらない

商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑のせいか商店街への客足が鈍りがちであり、その影響が各店の景況にも表れている。また、効果が期待されているプレミアム付商品券であるが、使用方法の広報不足により客に戸惑いがみられている。さらに、決裁方法が現金から変わっただけという見方もあり、売上増加に寄与するには今一つといったところである。
商店街（代表者）	来客数の動き	・祭りやイベントなどでは好天に恵まれ、こちらが思っていたほど来客数は落ち込んでいない。そのため、数字的にも順調な形で推移している。
商店街（代表者）	来客数の動き	・駐車場ばかりが出来て人が歩いてない。商店街は閑散としている。
商店街（代表者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券が発売されて以降、7月からお盆にかけて売上の前年比が商店街全体平均で100%超えとなっており、好調であった。しかし、プレミアム付商品券の使用が一巡したことと地方選挙の影響で、8月中旬以降はマイナスの方向に進んでいる。
一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・8月は猛暑が続いたが、寝具関係の売上は思いのほか伸びていない。
一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・低価格商材の動きは少しずつ良くなってきている。しかし、高額商材の動きは横ばいのままで推移しており、結果的に売上は変わらない状態である。
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・現状に特に変化はみられない。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・夏物商戦の終盤であるが、プレミアム付商品券の利用は食品を中心とした身の回り品の利用が多く、消費拡大にはつなげていない。
百貨店（買付担当）	販売量の動き	・値下げをしているが単品買いの傾向は変わらない。また、前年に比べて定価品の動きが鈍く、買上単価を上げられていない。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・メーカーの夏物セール商材の在庫量が少なく、月の前半は厳しい状況であった。ただし、中旬以降は気温も下がって店頭も秋物に切り替わっており、前年以上の販売量で推移している。
百貨店（経営者）	お客様の様子	・お中元ギフトについては例年どおりの動きをみせたものの、クリアランスセールは実施当初から反応が鈍く低調である。また、お盆商戦も例年ほどのにぎわいがなく、全体的に盛り上がり欠けている状況である。
スーパー（経営者）	単価の動き	・8月中旬から気温が低下したため夏物の動きが鈍化している。また、平均単価の前年比も落ち着いてきており、売上、来客数の推移も前年並みとなっている。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・既存店では売上が前年比101%、客単価はほぼ100%であり、3か月前と比較しても景気が回復しているとはいえない。ただし、今年に入ってから原因の特定できない人手不足が続いており、各企業とも求人にも四苦八苦している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暑さのため飲料やアイスの売上は増加したものの、全体的には低調に終わっている。また、全体的に来客数が減少しており、夏祭りの花火大会においても前年を下回っている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数に変化はない。景気がなかなか上向かず失業者も多くなっており、厳しい状況である。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・今月は好天に恵まれ、気温の上昇に伴い来客数が増加しており、ドリンク類やアイスクリームなどの売上が伸びている。ただし、客単価は前年を下回っており、結果として売上は前年比100%ぎりぎりとなっている。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・競合店の閉店などにより売上は改善しているが、客の購買単価が上昇しているわけではない。ただし、イベントなどでは来客数、販売量共に前年並みで推移しており、客はお金を使うところでは使えるようになってきている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数は特に変化なく推移している。また、販売数に関しても、わずかな変動で推移している。
コンビニ（店長）	単価の動き	・ドラッグストアやコンビニの新規出店は相変わらず進んでいるが、常連固定客が多い当店においては、特に大きな変化はない。

衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・秋らしい気候になり秋物が急に動き始めている。単価が前年より10%ほど上昇しているものの、来客数は増加していないため、売上は3か月前と同じ状況である。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・制服の貸与年数がのびている企業が増えており、秋冬物の事務服や作業服などの新規発注が少ない状況である。
衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・シャツ、スラックスなどのクールビズアイテムの買い足し需要が例年より大幅に減少しており、買い控えが更に進んでいる。
衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・夏物のセール品の売上が伸び悩んでいる。さらに、秋物の売上も良くない状態であり、全体的に消費動向の鈍さがうかがえる。
家電量販店(店長)	来客数の動き	・前年に比べて来客数が減少している。
家電量販店(店長)	販売量の動き	・お盆までは猛暑の日が続いたため、冷房、エアコン、冷蔵庫などが好調に売れていた。しかし、お盆以降は気温が低下したこともあって急激に販売量が減少しており、前年比90%に留まっている。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・消費税増税後の反動減の影響が残っている。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月の軽自動車税増税以降、販売量が伸びていない状況が続いている。
乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・毎年のことであるが、8月は新規客の来店がいつもより少なくなる時期である。
乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・繁忙期にかかっているものの、客足は遠のいており、依然として新車部門の前年割れが続いている。
住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・住宅事情が改善して耐久消費財である家具が売れてくると考えていたが、今のところはまだそう変わらない状態である。
住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・仏壇、仏具を取り扱っている。お盆ということもあって小物を中心に販売が好調であり、今月は目標をなんとかクリアしている。
その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・お盆期間中は飲食店にぎわっていたものの、全体的に動きが悪く、特に手頃な価格である定番商品の動きが鈍い状態である。一方、コストパフォーマンスが良く質的にグレードの高い商品の動きは良い。このような傾向は今まで都市部でみられていたが、地方においても顕著になってきている。
その他専門店 [パソコン] (経営者)	販売量の動き	・春以降、販売動向に極端な動きはなく、利益的にも薄い状態が続いている。
その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・前半は天候も良く、お盆中は例年以上に飲料水、アルコールの販売量が好調だったものの、お盆が終わると人の動きがびたりと止まり、飲食店も静かである。前半が良かった分、後半の急落が余計にこたえている。
その他専門店 [靴](従業員)	販売量の動き	・夏らしい暑さがお盆まで続いて夏物商材が順調に売れている。また、お盆を過ぎてからは一気に涼しくなったため、秋物商材の動きが出てきており、客単価も上がっている。
その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・8月前半は猛暑の影響もあって販売量が前年を超えていたが、中旬以降は天候の崩れとともにその勢いは一気に衰えてきている。そのため、最終的にはこれまでと同様に前年割れからの回復はできていない。
高級レストラン (経営者)	単価の動き	・少しずつ良くなってきていると期待はしているが、なかなか結果が出ていない状況である。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・商品の値上げにより来客数は若干減少したものの、客単価は上昇している。そのため、結果的に売上は同じという状況であり、客の様子に変化はみられていない。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・お盆を過ぎてからはめっきり来客数が減っている。お盆までは好調であったため売上としては変わらないが、今月後半の動きをみるとあまり良い雰囲気とはいえない。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・当館の来客数もそうであるが、同業者や他業種の人との会話からも、相変わらず景気は低迷したままであることがうかがえる。
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・当館の数字は順調に増えているものの、エリア内では来客数が伸びていないので、全体としてはそれほど変わらない傾向が続いている。

都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・夏のこの時期にしては、家族連れを含む個人客の来客数が今一つ増えていない。	
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・今年地元で大規模な祭りが開催されたが、この祭りをピークに客の動きは鈍ってきている。また、各ホテル共に苦しい状況であったが、8月の全国中学校体育大会の開催により救われ、ようやく前年並みとなっている。また、売上自体も横ばいであり、前年比に関しても前年並みで推移しているが、客のにぎわいの様子は今一つである。	
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊は相変わらず好調であり、毎月目標を達成している。ただし、宴会部門は一般宴会、婚礼共に目標を達成できていない、また、レストランは個室の個人利用が増えている分、売上は少し伸びている。	
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・依然として海外旅行の受注状況が思わしくない状態であり、申込件数が前年よりも減少している。	
通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・設備投資をちゅうちょしている企業が見受けられる。経営トップは頻繁に新規事業の話をするものの、慎重になって保留している状況である。中国経済の不安定により先行き不透明になっているためであり、ひとつでも明るい兆しがみえれば、また変わっていくのではないかと。	
通信会社(営業担当)	単価の動き	・物価の上昇が継続している。また、好調であるのは一部の大手企業だけであり、全体的な景気の向上にはなっていない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・建設業以外はコスト削減の要求が厳しい状況である。	
観光名所(職員)	来客数の動き	・来客数が最も増えるお盆期間に雨が多く、また、その後の天候不順もあり来客数は伸びていない。ただし、前年と比較した場合は若干の増加となっている。	
競艇場(職員)	販売量の動き	・3か月前と同じような状態である。また、目玉商品はあるものの、月単位での販売量は前年を下回っている。	
美容室(経営者)	単価の動き	・客単価の前年比にほとんど変化がみられない状況が続いている。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・例年であれば、夏祭りの時期は浴衣の着付けの仕事が増えるが、今年はお金をかけないように、雑誌などを見て客が自分で着付けをしている。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・住宅関連の仕事が落ち込んでいる状態が続いている。	
その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・8月単月では前年実績を超過している。前月の落ち込み分も回復しており、累計でほぼ計画通りとなっている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・7月まで順調に推移していた来客数が、8月中旬以降は目立って減少してきている。これは低価格販売店にとっては死活問題であり、9月以降の天候回復に期待したい。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・中間層の顧客や上顧客の服飾雑貨、身の回り品などの購入スタイルが、ファッションやおしゃれを意識したものから価格を意識したものに変わってきている。ブランドのしっかりしたものでも、自分のおしゃれに必要な不可欠な商品以外はデパートで購入することを控える客が目立ってきている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・例年この時期の秋物商材が動かないのは残暑によるものであるが、今年は残暑もなく一気に秋に入ったにもかかわらず、秋物商材の動きが非常に遅く厳しい状況である。また、ライセンスの切れた海外ブランドの撤退も、売上の減少に大きく影響している。
	スーパー(経営者)	来客数の動き	・既存店の来客数は安定しつつも微減している。また、買上点数も伸びていない。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・お盆終了後から明らかに客は節約志向に傾いている。
	スーパー(営業担当)	販売量の動き	・プレミアム付商品券の効果は、お盆でほぼ終了している。猛暑の影響で動きの良かった飲料以外は、ここに来て軒並み販売量の伸びがみられなくなっている。
	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・海外の経済状況や客の様子からは、景気が悪くなっているように見受けられる。

		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・ 8月は祭りやお盆休みで稼働日数が少ない。更に展示会などの来客数が急に少なくなっており、商談自体の件数が減少してきている。
		住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 祭りがあり、更に天候も良かったが、売上、来客数共に落ち込んでいる。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	販売量の動き	・ 労働人口の減少や経費削減などがあるのか、各企業とも夏服の注文数が少なく、売上のことも寂しい状況である。
		高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・ 選挙がある月は来客数が伸びずに苦戦する。特に夜の影響が大きく、観光客をターゲットにしても埋めることができていない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ ディナータイムの来客数及び客単価の減少が顕著であり、前年同月と比較しても勢いがいいことがよく分かる状態である。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ 予約の数が少ない。当店はまだ良いほうであるが、同業他社はかなり予約の数が少ないと聞いている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ 夏祭りやお盆においての入込数が前年よりも少なく、今一つである。
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・ 宿泊、レストラン、婚礼など、個人が利用する部門の売上が頭打ちとなっている。先々の予約も芳しくない状況であり、消費の落ち込みを実感している。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・ 巷では景気が良くなっているというが、当社に限っては夏の個人旅行の販売量が前年を大きく下回っている。飛行機の減便や暑さのせい、国内の動きも鈍い状況である。
		タクシー運転手 タクシー運転手	お客様の様子 来客数の動き	・ ますます乗り控えが目立ってきている。 ・ 客からは、景気が悪いという話は良く聞くが、景気が良いという話はほとんど聞かない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・ 今年は天候が良く、北国の短い夏の暑さをアウトドアライフで楽しむ人が増えている。そのため、テレビやインターネットといったインドアライフには目が向かないのか、利用者が減少し解約者が若干増える傾向がみられた。
		遊園地(経営者)	来客数の動き	・ もっとも重要な時期であるお盆近辺から天候不順が続いている。また、新規オープンした水族館の盛況や、閉園する市内の遊園地の入込の影響も加わり、来客数は前年比で20%を超える落ち込みとなっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・ 来客数がどんどん減少している。
		一般小売店[医薬品] (経営者)	お客様の様子	・ お盆までは猛暑ということもあって売上は前年並みに良かったが、それ以降は客足が全く途絶えている。また、気温の低下により風邪を引いても、節約して風邪薬を買わずに治すという人が増えている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 猛暑のせい、街中は心なしか人通りが少なく元気がない。スーツを着ている人も上着を脱いで歩いている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・ 暑い日が続いてなかなか外に出たがらないのか、来客数が少ない。さらに、お盆の期間中などは、あまり客は洋服を買いに出でこない。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・ 上旬は暑かったが中旬以降から涼しくなり、盛夏用のサマースーツを購入する動機が薄れてしまっている。スーツや礼服を作るモチベーションも下がっており、大苦戦をしている。
		その他専門店 [食品](経営者)	販売量の動き	・ 夏の商戦は非常に悪い状況であり、お中元、暑中見舞いなどの物品を購入する人が減っているように見受けられる。また、消費者はプレミアム付商品券を必需品に使用しており、し好品などには使用していないようである。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・ お盆によって消費が増えたが一時的なものであり、全体の景気を左右するまでには至っていない。また、来月に控えている地方選挙の影響により、8月後半は特に夜間の客足が途絶え気味であり、これは来月まで足を引っ張るだろう。小さい街であり、選挙による街全体への影響が大きすぎる。
企業動向 関連 (東北)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・ 主力品種のももは好天に恵まれて品質も良く、例年よりも1週間早く最盛期を迎えており、お盆前の需要に間に合っている。また、販売単価も例年より2割程度上昇している。

	出版・印刷・同 関連産業（経理 担当）	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較して、売上が伸びてきている。
	金融業（広報担 当）	それ以外	・求人倍率が過去最高レベルを維持している。
変わらない	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・暑さもありお土産品の動きが悪い。また、七夕まつりも人出は多かったものの、お土産を持ち歩いている人をあまり見かけていない。
	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・前年同月比の場合、レストランの売上は増加しているものの、物販の売上は増えていない。食物の土産購入にインバウンドは影響していない。
	食料品製造業 （営業担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量の前年割れ状態が続いており、収益状況も悪化している。
	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・一般消費についてはそれほど大きな変化はみられていない。しかし、進物商品の受注は前年を下回っており、消費者は購買に慎重になっている様子が見える。
	木材木製品製造 業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・住宅部材の需給バランスが悪く価格が低迷しており、収益が厳しい状況である。
	土石製品製造販 売（従業員）	受注量や販売量 の動き	・冬季に向けた道路修復工事や積雪地域の補強工事が多くなる時期であるが、材料費や運搬費用の値上げが響いているのか、例年に比べ発注量が少ない状態である。
	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・顧客によっては受注量が増加しているが、全体として受注量が改善される傾向がみられない。
	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・来客数、受注量共に変化はない。
	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・復興関連公共工事の発注が停滞傾向にある。
	建設業（企画担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・施工能力の限界状態がしばらく続いている。
	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・現状に大きな変化はない。
	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・顧客減少を補うために新規開拓を開始しているが、認知度が低く苦戦を強いられている。
	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・企業に設備投資をする様子はみられない。
	金融業（営業担 当）	取引先の様子	・プレミアム付商品券や、ものづくり補助金を活用した動きが良好である。
	広告業協会（役 員）	それ以外	・8～9月の受注量に変化はない。ただし、不動産広告や求人広告などが動き出しているからか、10月以降の引き合いはきている。
	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・印刷物は増刷の発注量が減っている。また、ホームページ作成コンペでは上限価格が下落している。ただし、新規オープンした水族館の仕事は順調である。
	広告代理店（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・低調な状態から回復しつつあった海外個人旅行が、タイのテロ事件や朝鮮半島の情勢悪化により、申込を控えたり取消をする客が増えつつある。
	経営コンサルタ ント	取引先の様子	・国際情勢による悪影響が懸念されるものの、現状では特に目立った変化はない。
	公認会計士	取引先の様子	・小売業関係は、売上が前年と比べ減少しており、なかなか戻らない状況である。また、建設関係は相変わらず小康状態であるが、利益を計上しているクライアントが多い。
	その他非製造業 〔飲食品卸売 業〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・地元繁華街において景況感を反映しやすい料飲店向けの販売量が横ばいであり、外食への支出が伸びていないことがうかがえる。
その他企業〔企 画業〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・相変わらず受注に結びつくための案件の絶対数が少ない。得意先の様子見が継続しており、発注案件は最小限に控えられている。	
その他企業〔工 場施設管理〕 （従業員）	取引先の様子	・出荷数が安定しており、順調である。	
やや悪く なっている	農林水産業（従 業者）	取引先の様子	・最近になり、農機メーカーがコンバインなどの高価な農機を安値で販売するようになっている。これまで経験したことのない割引率であり、メーカー側の苦境が見受けられる。
	繊維工業（経営 者）	取引先の様子	・天候不順などにより、店頭の新着が良くない。

	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社製品の大口価格が下落傾向にある。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が緩やかではあるが減少してきている。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・数社の取引先から仕入価格値上げの案内がきているが、販売価格に転嫁できるか不安である。
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている	-	-
(東北)	やや良くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外 ・仕事量が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数は、3か月連続で前年同月比10%以上の増加率となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・7月の新規求人数の前年同月比は7.8%増加しており、3か月前及び6か月前と比較しても増加している。前年比において、製造業23.5%増加、卸小売業22.6%増加、サービス業47.0%増加と主要産業で大幅に増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・前年同月と比較して、新規求職者数、有効求職者数は微減しており、新規求人数並びに月間有効求人数は微増している。また、有効求人倍率はこの1年の間、0.8後半～1.0台前半で推移しており、雇用が落ち着いた状況に大きな変化はない。ただし、求職者数の減少に比べて求人数の増加が目立っており、3か月前と比べて明るい印象を受けている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子 ・相変わらず、中堅、中小企業の採用意欲は高い。特に新卒採用においては、大学3年生向けに8～9月のインターンシップを企画しており、来年以降の採用にも力を入れていこうとする企業が非常に増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子 ・採用人数を増やす事業所は少なく、一部の継続募集をしている事業所を除いて動きがみられていない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き ・派遣求人数は堅調に推移している。ただし、正社員志向の高まりにより案件とのミスマッチが続いている。また、派遣登録者数も低迷が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子 ・人手不足感はあるものの、今後の景気動向に不安を感じるため、正規雇用に踏み込めない企業が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外 ・求人広告は好調に推移しているが、個人消費が伸びていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外 ・求人広告に関しては、期間従業員、タクシーやトラックのドライバー募集などは例年どおりの出稿状況であるものの、それ以外の分野においては動きがみられていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・不人気業種からの求人は繰り返し出されているものの、他の業種からの求人数は増加していない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・前年同月と比較して、求人が減少しているものの、求職者の減少幅がそれ以上のため、有効求人倍率は1.3倍を超えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・労働者派遣業の求人が減少したことで、新規求人数は4か月連続で減少している。また、求職者数も引き続き減少しているものの、求人数の減少幅が大きくなっていることから、有効求人倍率は前年比が2か月連続で減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・月間有効求人数は前年同月と比べてもほぼ横ばいである。新規求人数はやや減少傾向にあるが、総じて高止まりの状況であり、変化はない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・前年と比較して、小幅ながらも有効求人数が減少傾向にある。
		民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子 ・相変わらず非正規社員の雇用が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き ・登録者数が更に鈍化しており、需要に対しての人材の引当率が低下している。そのため、7月売上が前年比5%減、粗利で前年比9%減となっており、3か月前と比べて状況は悪化している。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・ 求人数は都市圏集中型になってきており、それ以外の地域との格差が広がっている。オリンピック景気にわく首都圏集中と同じ構図となっており、被災地では求人をする事自体が諦めムードとなりつつある。さらに、就職試験 8 月解禁と一斉解禁が相まって深刻化している。
悪く なっている	-	-	-